

# インクの硬化を固定に変換する研究

## An Exploration of Ink Solidification

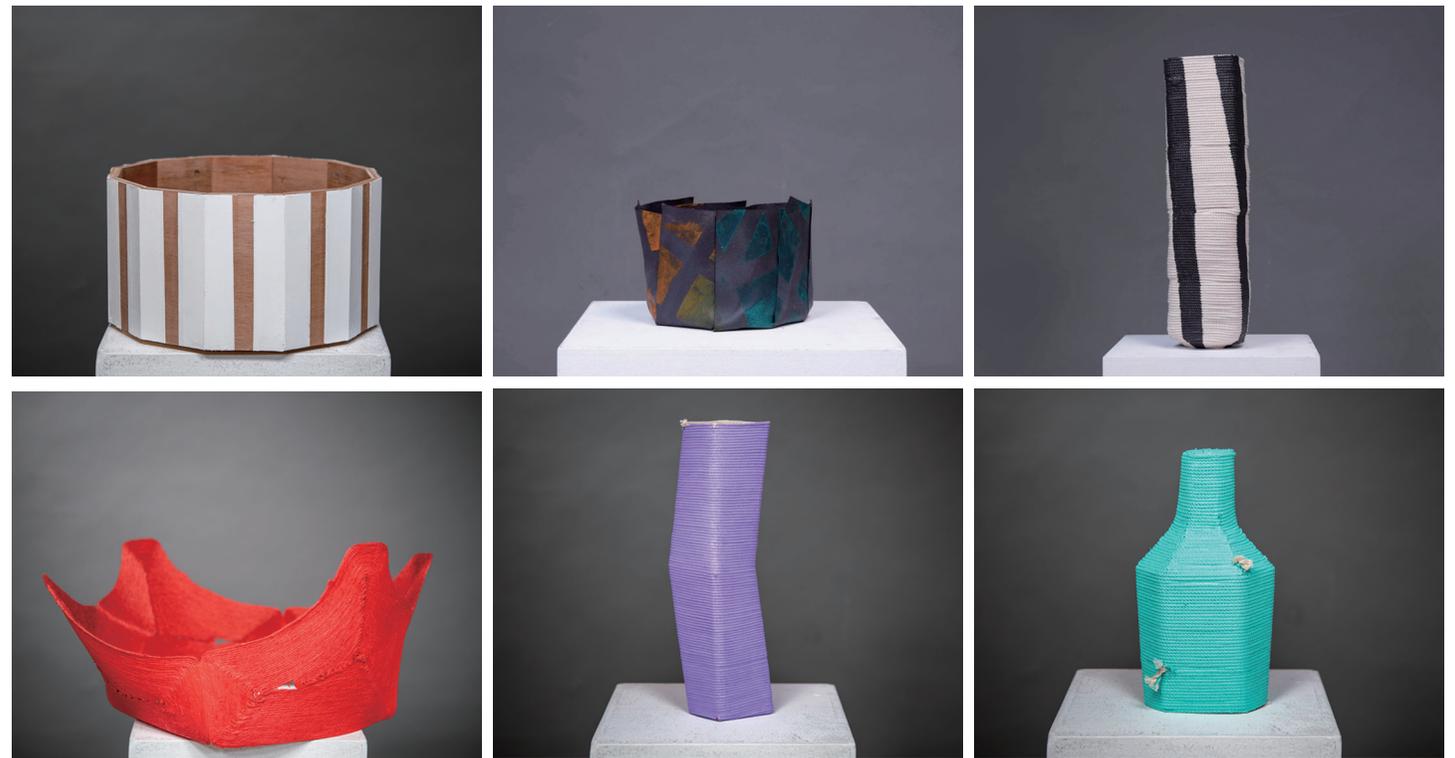


### 着色と固定

「巻く」「塗る」この誰も行ったことがある、原始的な行為によってひとつのプロダクトができています。連続的に素材が巻かれ続けることで積層を重ねて行き、上から色を塗ることで連続する素材同士が一枚の布や紙のような面になり、単一の素材としては立体にはならない綿ロープとインクの2つの素材により新しい立体構造のプロダクトになっています。言うならば現代の縄文土器です。

### Coloring and Hardening

Most people have done some wrapping and painting. I created this product using these basic techniques exclusively. By repeatedly wrapping raw materials around, their layers stack on top of each other. Coating the top layer with paint creates an impression of a single sheet of fabric or paper. Rope and paint, neither of the materials alone can form a three dimensional object, but together they do. I like to think of this work as the Jomon pottery of today.



誰も絵具が固まる現象を経験したことがあるはず。インク内に含まれる水分が乾燥と共に蒸発しインクの体積が縮小することで硬化が始まります。この現象を利用し、綿ロープをスチレンボードで作った割り型の周りに巻き付け、上からインクを塗り造形を作る技法を新たに作り出しました。インクの硬化により撚り紐の風合いは残りながらも、紐と紐の間がインクで埋まったり、はみ出したりとインクの不可抗力により魅力的なディテールが生まれます。そして従来の紐製品に見られる柔らかなイメージとこの製法でしか現れないエッジのある造形ができます。